

医療法人 健明会

企業
DATA

◎住所:直方市上新入2490-7 ◎TEL:0949-22-2600
◎資本金:1億2,000万円 ◎設立:1980年(昭和55年)11月1日
◎正社員数:70名
◎HP:http://www.kenmeikai.jp/

地域に最高の医療サービスを、職員に最高の職場環境を届けたい



地域のニーズに応え続け 愛される総合クリニック

健明会は昭和56年に開院し、元気で明るい生活が続けられるように地域の高齢者を中心に、専門的なケアやリハビリテーションの提供を行って、介護の予防や支援等地域の様々なニーズに応じて愛される総合クリニックを目指している。

一方で職員が働きやすい職場環境づくりにも力を入れており、就業規定を整備するだけでなく、制度が利用しやすくなるよう様々な取組を行っている。例えば、育児休業の取得ルールを明確化して全職員に対する説

明会を実施するなど、理解を促す取組を行っている。休業取得者をフォローする周囲のスタッフにも気を配り、負担が掛かり過ぎていないか上司が声かけすることにより、全員が前向きに業務を分担することができ、安定した運営につながっている。

復職後も子育てのための急な休みなどに臨機応変にフォローする体制が作れるなど、協力し合う雰囲気ができている。院内の託児所を利用できることも、復職したスタッフから喜ばれている。



社員の声

男性の育児参加への理解とスタッフのサポート みんなの協力に感謝しています

2年前に4人目の子供が生まれる際、約1ヶ月の育児休業を取得しました。まだ小さく、手のかかる3人の上の子たちの世話や、出産前後のケア、病院への付き添い、出生届の事務手続きなど、妻の負担を軽くすることができました。原則3ヶ月前に申請を出し、管理部と一緒に、自分の業務を他のスタッフに振り分け調整するなど、育児休業を取得するためのルールが明示されていたので、周囲の理解と協力のもと気兼ねなく休業の準備を進めることができました。復職後、院内の託児所を利用できたのも、大変助かりました。

今後、他のスタッフが育児休業を取得する事になれば、私が取得した時と同様に職場復帰するまでのサポートを行い「子育てがしやすい職場」づくりに協力していきたいと思っています。



リハビリ部
理学療法士

辻 守生さん



担当者
の声

当たり前のことを当たり前に行い 男女を問わず育児休業を取りやすい環境に

育児休業の取得に関して、ルールの整備を行いました。但し、ルールがあっても上司やスタッフの理解が得られないと申請しづらい状況が生まれます。

全従業員に対し定期的に育児休業制度についての周知を行うことや制度利用者をフォローするスタッフに負担が掛かり過ぎていないか日頃から声をかけチェックすることで、全員が育児支援を前向きに受け止めるようになりました。

常に、育児休業が取りやすい環境づくりを心がけ、当たり前のことを当たり前に行い、日常化していくことが大事だと思っています。



事務長
青見 健志さん

社会保険大牟田天領病院

企業
DATA

◎住所:大牟田市天領町1-100 ◎TEL:0944-54-8482
◎設立:2002年(平成14年)4月1日
◎資本金:無(一般財団法人のため) ◎正社員数:496名
◎HP:http://omutatenryo-hp.jp/

安心と信頼を持たれる病院づくりのために、より働きやすい環境へ



全職員が能力を発揮できる環境へ

明治22年三池炭坑の創業とともに、大牟田市山の上町において診療を開始。以来100有余年に亘って、地域の住民から愛される総合病院として、医療を提供してきた。平成14年に、三井大牟田病院から社会保険大牟田天領病院と名称変更。医療理念として1) 患者中心の医療 2) 医療の質の向上 3) 地域社会に合った手づくりの医療 4) 安心と信頼を持たれる病院づくりを掲げ、地域の病院、診療所及び介護施設と連携し、急性期医療を担当する中核病院として地域医療に貢献している。



男性の育児参加促進のため、 配偶者の出産時の休暇取得を奨励

全職員に対し育児休業制度の周知を図り、育休及び復帰後の諸制度マニュアルを配布する等、出産・子育てをしながら働きやすい職場づくりに取り組んできた。

近年では男性が育児に参加できる環境の整備にも力を入れている。男性職員が配偶者の出産時に休暇を取得することを奨励。人事担当者から取得対象職員への個別説明を実施し、取得の促進に努めている。全職員に対しても、掲示板などで制度の周知・啓発を年2回程度実施。その結果、周囲の職員に理解が広がり、協力体制が取れるようになってきた。

その他、院内には託児室が設置されており、職場に近いことで利用しやすく安心して働くことができている。病児介護が必要な場合にも、優先的に休暇が取れるよう配慮をしている。また、スタッフを増員し、一人当たりの夜勤回数の削減に努めるなど職員が子育てに参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。



担当者
の声



事務長補佐
小林 敬一さん

男性職員も子育てに参加できる環境を

男性職員が子育てに参加する意識を持てる職場環境にするため、両立支援に関するパンフレットや資料を定期的に掲示板に掲示して周知したり、希望者には配布して啓発しています。

また、配偶者出産時休暇の取得を奨励していますが、実際に休暇を取るには、周囲の社員の協力を得ることが重要なので、日頃から全職員とコミュニケーションを図り、子育てを応援する職場の雰囲気を作っています。

今後は、より職員が気兼ねなく子育てに関する相談ができる環境を目指しています。



社員の声



コメディカルスタッフ
30代男性職員

周りの協力のおかげで出産に立ち会い本当に良かった

妻の産前・産後に合わせて、配偶者出産時休暇をいただきました。出産予定日が決まり、担当者に相談した際には、他のスタッフへのシフト変更など速やかに対応していただきました。また、職員の皆さんにも快く協力してもらえたことを、大変有り難く思っています。

今回、出産に立ち会い妻と喜びを分かち合うことができ、本当に良かったと感じています。これからも積極的に育児に参加し、仕事と育児を両立させていきたいと思っています。また、他の職員が出産時休暇を取得する際には進んで協力していきたいと思っています。